

森之宮キャンパス開設記念イベント

森之宮移転4部局 合同研究フォーラム2025

冒険、知の森へ

- ◆2025年11月29日（土）13:00～17:30
- ◆大阪公立大学 森之宮キャンパス 11階
1101・1105・1106室

2025年秋に森之宮新キャンパスに進出した大阪公立大学の文学研究科・生活科学研究科(食栄養学科)・リハビリテーション学研究科・国際基幹教育機構は、森之宮移転4部局として分野融合型の共同研究や合同での地域社会連携事業を推進しています。

その一環として、若手研究者の研究シーズ交流の機会として合同フォーラムを開催し、共同研究や地域社会連携事業のシーズを探ります。

プログラム

13:00～13:10 開会のご挨拶(1101室)

13:15~14:30

セッションA(1105室)「人間行動のWell-Being」 セッションB(1106室)「健康とWell-Being」

14:35~15:50

セッションC (1105室) 「心のWell-Being」 セッションD (1106室) 「文化とWell-Being」

16:00~17:30

分野融合セッション(1101室) 「生きる力を拓くWell-Being学 :知の森からの挑戦!」

17:30ごろ 閉会のご挨拶(1101室)



※特設サイトは右の
QRコードから。⇒



冒険、知の森へ

森之宮移転4部局合同研究フォーラム2025 プログラム

13:00～13:10 開会のご挨拶

13:15～14:30 セッションA・B

14:35～15:50 セッションC・D

—休憩—

16:00～17:30 分野融合セッション

17:30ごろ 閉会のご挨拶

18:00～ 交流・懇親会（1階生協食堂）

■セッションA（13:15～14:30 1105室）

「人間行動のWell-Being」

司会：緒方 康介（生科/犯罪心理学/教授）

- ▶ 河 ゆき（生科/総合福祉・臨床心理学/M2）
「ウソ発見は音楽に方向づけられるのか②
—聴覚的背景情報が隠匿情報検査における自律神経系反応に及ぼす影響—」
- ▶ 辻中 棕（リハ/理学療法学/D2）
「都市部の交通網変化と居住高齢者の生活行動の変化
—主観的環境認識からみた今後の展望—」
- ▶ 島本 淳子（文/文化構想学/D3）
「ピアノがひらく発達支援の新しいかたち：音楽と色彩が育む子どもの発達」

■セッションB（13:15～14:30 1106室）

「健康とWell-Being」

司会：所 道彦（生科/社会福祉学/教授）

- ▶ 小嶋 瞳希（生科/食栄養学/M1）
「アミノ酸栄養が遺伝情報の読み取りを制御する
—骨形成を調節する未知なる仕組みの解明」
- ▶ 藤田 えりか（リハ/リハビリテーション学/D2）
「ジゴキシンやデゼン酸エチルエステルによるシナプス新生の促進が運動学習や運動機能回復に及ぼす効果」
- ▶ Pencil Ashleigh（生科/食栄養学/PD）
「Turning Data into Action: Adolescent Obesity and Cardiometabolic Risks in Zimbabwe（データを行動へ：ジンバブエの若者における肥満と心代謝リスク）」

■セッションC（14:35～15:50 1105室）

「心のWell-Being」

司会：中村 めぐみ（リハ/作業療法学/助教）

- ▶ 久保田 悠功（生科/人間福祉学科/B4）
「ディスレクシア向けフォントに関する実験のベイジアンメタ分析」
- ▶ 岩本 健吾（リハ/リハビリテーション学/D2）
「慢性疾患・障害の心理社会的適応評価RIDi
—日本語版の開発と評価指標の検証—」
- ▶ 田崎 史江（リハ/リハビリテーション学/D3）
「リハビリテーションにおける園芸療法の効果と基礎研究」

■セッションD（14:35～15:50 1106室）

「文化とWell-Being」

司会：川野 英二（文/社会学/教授）

- ▶ 寺本 圭子（文/社会学/HIRC研究員）
「コンタクト・ゾーンにおける文化の変容と創造
—大阪市西淀川区の事例から—」
- ▶ 岡部 政美（文/文化遺産学/HIRC研究員）
「文化遺産保護の新潮流：有形・無形文化の包括的保護によるコミュニティのWellBeing創造」
- ▶ HE MIAOMIAO（文/社会学/D1）
「コロナ後に来日した中国人ニューカマー児童・生徒の学校生活」

■分野融合セッション（16:00～17:30 1101室）

「生きる力を拓くWell-Being学：知の森からの挑戦！」

司会：横井賀津志（リハ/作業療法学/教授）

- ▶ 金山 篤樹（リハ/理学療法学/特任助教）
「歩行機能向上のための新たなリハビリテーション戦略」
- ▶ 海老原 伸（生科/生体機能学/客員准教授）
「皮膚と関節の病態運動を読み解く—モデル動物から芽生える新しい知—」
- ▶ 今井 大喜（基幹/運動環境生理学/准教授）、横山 久代、三宅 孝昭、荻田 亮、松竹 貴大、川端 悠、吉井泉、鈴木 雄太、小笠原 佑衣、大田 亜美、岡崎 和伸
「森之宮キャンパスにおける健康・スポーツ教育の展開」
- ▶ Jean Lin（文/言語文化学/准教授）
「料理の美的経験——味覚をめぐる感覚間相互作用と翻訳可能性」